

北広島市立西部小・中学校 九年間の学び コミュニティ・スクールの推進 ～地域とともにある学校づくり～



<http://www.school.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/seibut/>

地域とともにある学校づくり推進フォーラム

本日、みなさまにお伝えすること

- コミュニティ・スクール(CS)設置までの経緯
～組織・体制づくり
- 西部コミュニティ・スクールの実践
- 取組の成果と子どもたちや地域の変容



CS設置までの経緯



平成25年8月 安齋先生講演会

なぜ、今、コミュニティ・スクールなのか

■北広島市の願い

さらに推進

それぞれの「まち」の「よさ」を生かす
地域とともにある学校づくり

コミュニティ・
スクール

「北広島市教育
基本計画」
の
実現

めざす子ども像：

心豊かに 大志を抱き たくましく 生きる子ども

- 教育基本法に、「学校、家庭、及び地域住民等の相互連携協力」の規定が新設。
学校・家庭・地域の連携の下に、学校教育の充実や生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上がますます求められる。
- 平成23年度に、10年先を見据えた「北広島市教育基本計画」を策定。
人づくり・まちづくり・未来づくりを推進。豊かな自然や歴史、教育施設の充実、教育熱心な市民など、素晴らしい教育風土を持つ北広島市において、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を一層推進し、夢や志を持ってたくましく生きる人を育てていくことが重要。

西部コミュニティ・スクールの取組

★導入の経緯

児童生徒の実態

【強み】

- ・思いやり、素直、真面目
- ・授業態度良好

【弱み】

- ・向上心、粘り強さに欠ける
- ・自ら行動するのが苦手

地域の実態

【強み】

- ・「おらが学校」意識
- ・子育てに強い関心

【弱み】

- ・地域住民の意識差・温度差
- ・地域人材の固定化・高齢化

地域と家庭、学校をつなぐ
コミュニティ・スクールが有効

平成25年度より
コミュニティ・スクールを導入

7

1. H25 導入当初

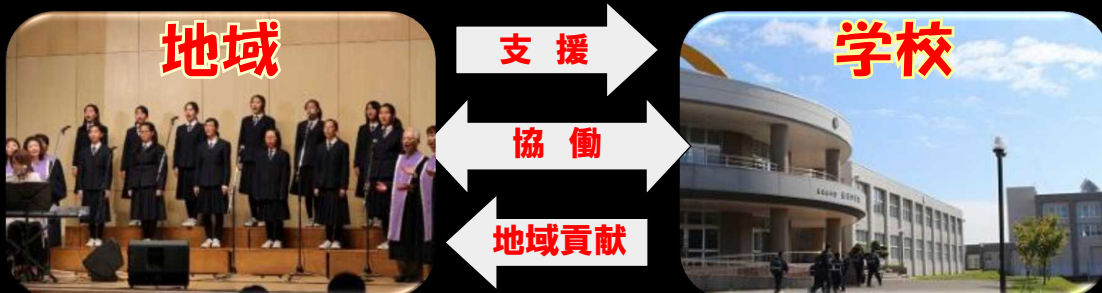
1, コミュニティ・スクールとは・・・

■学校運営協議会の設置

「コミュニティ・スクール」・・・

教育委員会が制定する規則（「北広島市立小学校及び中学校における学校運営協議会に関する規則」平成25年4月1日施行）に基づいて指定され、「学校運営協議会」を設置した学校

■地域と学校の関係



2. 学校運営協議会 ～どんなメンバーで～

■H24 コミュニティ・スクール推進委員会設置

- 学識経験者 ●小・中PTA会長
- 学校評議員 ●地域諸団体代表
- 小中学校校長、教職員 ●教育委員会

制度説明会・先進校視察
講演会・体制づくり

■学校運営協議会の構成

西部コミュニティ・スクール運営協議会の場合

- 保護者 ●当該学校の校長・教職員
- 地域住民 ●関係行政機関の職員
- 学識経験者 ●教育委員会が適当と認める者

西部中学校校区においては、小中学校で学校運営協議会の構成を一緒にしている

3. コミュニティ・スクールでどう変わるか

地域とともにある学校～互いの高まりへ

学校と地域の連携

- 教育活動の質の向上
- 児童生徒の問題行動の減少
- 児童生徒の学習意欲や学力の向上

双方向の
活性化
Win・Win

- 学校と地域の信頼関係の強化
- 地域課題を解決する人材の育成
- 地域・家庭の教育力の向上

よいよい
学校づくり



よいよい
地域づくり

学校、地域・家庭のお互いが
活性化し、豊かになり、高まる！

4. 「地域とともにある学校づくり」を目指して ①

★めざす子ども像と活動スローガン（平成27・28年度）

学校経営方針

地域の願い

義務教育9年間で【めざす子ども像】

**心豊かに 大志をいただき
たくましく 生きる子ども**

【西部CS 活動スローガン（平成27・28年度）】

「子どもの夢や未来をみんなで支えよう」
～西部の伝統を生かして
子どもたちの「チャレンジする心」を育む～

11

■身につけさせたい4つの力

【「夢を持ち、自らチャレンジする心を育む」ために
身につけさせたい4つの力】

確かな学力を育む

～自ら考え、進んで学ぶ～

**健康で、
たくましく鍛える**

～心身の健康を育む～

心豊かで思いやる

～豊かな人間性を育む～

地域・社会に貢献

～地域を愛する心と
態度・行動を育む～

4. 「地域とともにある学校づくり」を目指して ②

■CSを進めていくための手法(キーワード)

キーワード
熟議

みんなでよく考え、知恵を出し合い、**言うべきことをしっかりと言う「熟議」**の手法が重要

協働

マネジメント

同じ目標に向かって、それぞれの得意分野・領域を生かして、**互いに補完し合う「協働」**の姿勢が重要

教職員の意識と実践力の向上、**運営全般をコーディネート**できる地域人材の育成など、「**学校のマネジメント力**」が必要

組織・体制づくり



西部CS委員会

西部CS委員会役員会
委員長、各部部長・副部長、事務職員

【地域コーディネート部】

地域における行事の推進、児童・生徒の健全育成及び安全指導に関する活動

- ・諸機関の活動予定交流
- ・子どもの抱えている諸問題
- ・子どもの健全育成及び安全指導
- ・健全育成に関する行事協力
- ・地域における交流行事の推進
- ・ボランティア活動の推進
- ・広報活動(HP・CSだより)
- ・CSカレンダー作成・配布

【学校支援部】

教育活動への保護者・地域人材の積極的な参画促進に関する活動

- ・授業の支援・補助
- ・校外学習、地域学習の支援補助
- ・学習環境整備の支援・補助
- ・各種検定試験の補助
- ・学校行事に関する支援・補助(SA・CV)
- ・その他、学校教育全般の参画

【学校評価部】

学校の基本的な方針に基づき学校運営の点検や評価・助言

- ・学校評価計画
- ・保護者アンケート質問項目について
- ・保護者アンケートの集計結果と評価分析
- ・中間評価や年度反省
- ・学校関係者評価協議
- ・保護者・地域の意見や要望
- ・CS委員会の運営評価

西部CSの課題として...

- ・保護者の参画が少ない。
- ・CSの周知がまだ足りない。



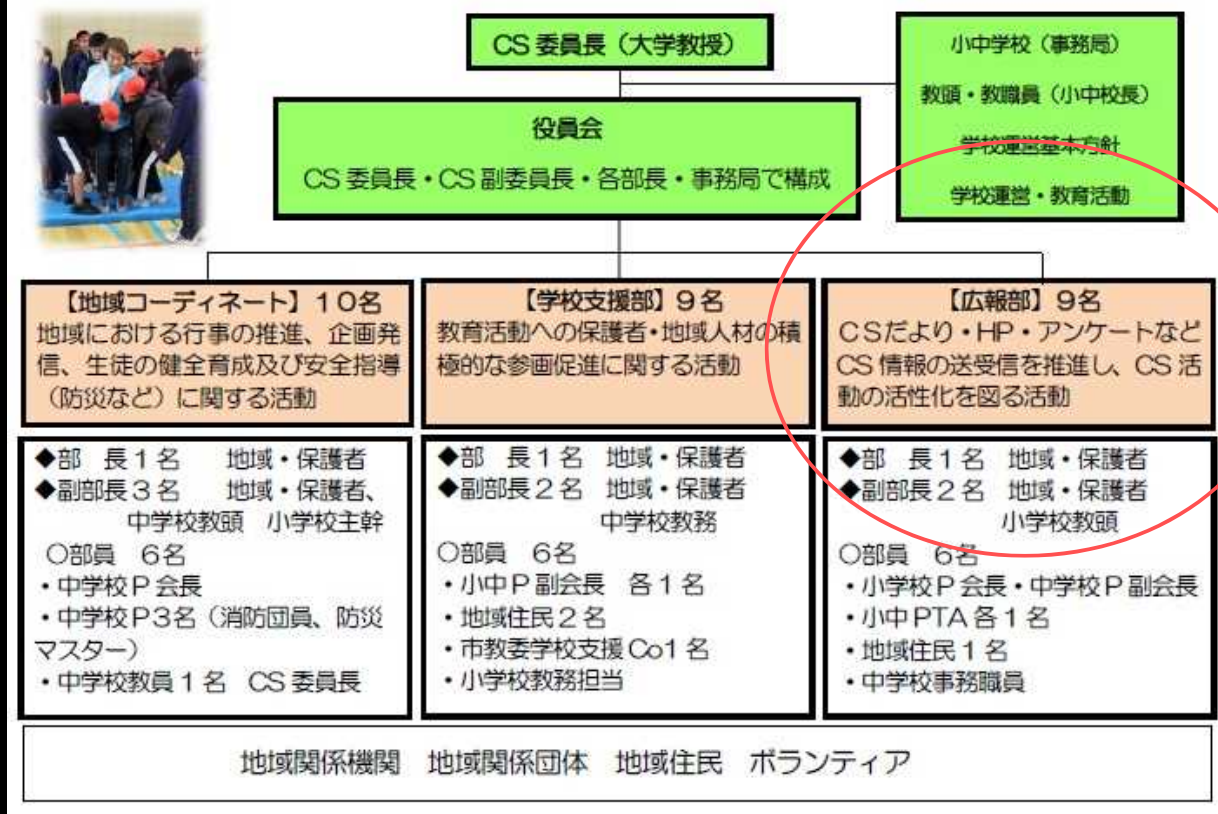
- ・保護者枠の拡充
- ・広報部によるCSの周知



韓国視察団 西部CS視察来校

西部コミュニティ・スクール委員会 部会構成 H27~28

平成28年度 西部コミュニティ・スクール委員会組織



西部コミュニティ・スクールの活動内容

1 地域諸団体の活動充実

- 子どもの**夢や未来を育む活動**を進めます
- 子どもや大人が**みんなで集える活動**を進めます
- 西部の**歴史や環境を学び、チャレンジする子ども**を育てます

2 学校の教育活動に地域の教育力を

- サポート隊やボランティア**の充実
- 豊かな**心の育成やキャリア教育**を進めます
- 学習支援**に地域の力を活用します

3 地域・家庭・学校の連携による活動充実

- 子どもたち・教師たちの地域行事への参加や**地域貢献**の促進
- 地域と学校が一体となって取り組む**あいさつ運動**
- 安全・安心・防災を**地域全体で**取り組む活動

西部コミュニティ・スクールの取組①

★「地域コーディネート部」の取組

地域における行事の推進、児童・生徒の健全育成及び安全指導（防災など）に関する活動のコーディネート

- 諸機関の活動予定の交流・調整
- 子どもの抱えている諸問題
- 子どもの健全育成及び安全指導
- 健全育成に関する行事協力
- 地域における交流行事の推進
- ボランティア活動の推進



19

西部コミュニティ・スクールの取組②

★「学校支援部」の取組

『西部っこサポート隊』（ボランティア）募集！！

★誰でも「西部っこサポート隊」になれます★

保護者や地域のみなさんにボランティアとして教育活動などを支援していただくものです。
みなさんのお力が子ども達の成長につながります。
西部の子ども達をみんなで応援しましょう！ ふるってご参加を！

西部小学校・西部中学校で授業や行事等でお手伝いをお願いしたいことがたくさんあります！！

◆授業補助

- 調理実習のお手伝い
- ミシンや習字授業の指導

◆学習活動のサポート

- 漢字、英語、数学検定のサポート
- 放課後学習

◆安全安心見守り隊

- 地域合同あいさつ運動、交通安全指導
- 子ども

◆コミュニティ・スクール運営や地域の各団

- コミュニティ・スクール活動や地域行事へのお手伝い

*都合のつく範囲でかま

教育活動への保護者・地域人材の積極的な参画促進に関する活動

- 授業、校外学習、地域学習の支援・補助
- 学習環境整備の支援・補助
- 各種検定試験の補助
- 学校行事に関する支援・補助
- その他、教育活動への参画

20

西部コミュニティ・スクールの取組③

★「広報部」の取組

地域・保護者・学校の活動や委員会の活動等、情報の送受信を推進し、CS活動の活性化を図る活動

- CSだより（カレンダー）の作成・配付
- ホームページの充実
- 児童生徒の様子、活動の様子等の積極的紹介
- ボランティアの声、地域・保護者からの要望等の受信
- 啓発用パンフレットの作成・発行 他

平成27年度 西部コミュニティ・スクール（CS）委員会 〒061-1268
 北広島市稲厚中央1丁目12-1
 （北広島市立西部中学校内）
 TEL011-376-2282 FAX 011-376-2292
 文責 西部CS委員会広報部

西部CSだより

2号 平成27年7月22日発行 http://www.school.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/westcommunity2015/0722_index.html

地域とともにある学校づくりを目指して

北広島市教育委員会
 教育長 吉田 孝志

子ども達の夢や未来をみんなで支える「西部コミュニティ・スクール」へのご理解とご協力をいただきますことに感謝申し上げますとともに、その取組に敬意を表します。


西部コミュニティ・スクールは、学校運営協議会をもち、学校と地域の方々（保護者・地域住民等）とを共有し、辛口の友人関係を保ちつつ、連携・協力のもと、一体となって地域の子ども達を育んくことに主眼があります。

西部小中学校の地域公開日（6月17日・水）に来校された方から感想を伺いました。

～西部小にて～
 「全部のクラスを見せていただき、各学年・クラスごとの様子がよく伝わってきました。」（地域の方）
 「ほとんどの子の授業態度が落ち着いていて、明るくのびのびと学んでいる姿を見ることができました。」（地域の方）

～西部中にて～
 「普段なかなか来る機会がありませんが、小中の開放日と同じだったので、小学校の参観の後に来てみました。初めて入りましたが校内が明るくきれいで、玄関から2階ホールにかけてとてもお洒落ですね。」（西部小保護者）

「3年生はさすが！集中して授業を受けているのに感心しました。」（地域の方）



ホームページの充実により地域との情報交流

<http://www.school.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/seibu/>




西部コミュニティ・スクールホームページでは、シンプルで直感的なホームページになるよう工夫。

理解・啓発のために



どのように地域(町内会等) や学校職員の理解を得たか

● 講演会による啓発 (H24文科省・三鷹中央学園委員長・H25文科省安齋先生)

● 情報発信

- ・ホームページの充実
- ・「CSだより」委員限定⇒町内会全戸配布へ
- ・CSカレンダーの試み

● 小中学校教職員への周知

【平成25年8月 北海道新聞より】

- ・小中連携会議の拡大(管理職・教務主任・生徒指導主事・児童生徒会担当)
- ・小中合同研修会実施(H26年度 2回の全小中教職員による研修)
- ・日常的な交流(ソフトボール・バレーボール研修)

コミュニティ・スクールパンフレットを教育委員会が作成 H25.4

地域とともにある学校づくり

西部コミュニティ・スクール(仮称)スタート!



北広島市では、平成25年度から、地域とともに学校づくりを進める「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を、西部中学校区(西部小学校・西部中学校)でスタートします。このパンフレットは、地域の皆さまの「西部コミュニティ・スクール」に対する理解を深めていただくことと、地域の子どもを育てるために、みんなで協力して、更により学校づくりを推進する目的で作成いたしました。(北広島市教育委員会)

1. コミュニティ・スクールとは

■地域と学校の関係



教育委員会が制定する規程に基づいて指定され、「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。「学校運営協議会」の委員は、学校や地域の実情を踏まえて選ばれます。委員は構成のバランス等にも配慮しつつ、無難のある優れた人材を選出します。この学校運営協議会では、学校運営の基本方針

■学校運営協議会の構成

西部コミュニティ・スクール運営協議会の場合

●保護者	●当該学校の校長・教職員
●地域住民	●関係行政機関の職員
●学識経験者	●教育委員会が適当と認める者

を委託したり、教育活動について意見を述べたりして、地域の皆さまの意見を学校運営に反映させることができます。学校運営協議会は、学校の応援団であり、学校にとっての「パートナー」です。委員の皆さまには、「卒口の友人」「人と人をつなぐ」「目標を共有する」存在であることが求められます。また委員には、校長などの教職員も含まれます。

2. なぜ今、「コミュニティ・スクール」なのか

■北広島市の願い

それぞれの「まち」の「よさ」を生かす
地域とともにある学校づくり

さらに推進
コミュニティ・スクールの実現

めざす子ども像: 心豊かに 大志をいだき たくましく 生きる子ども

改正された教育基本法には、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」の規定が新設されました。社会がますます複雑多岐化し、子ども達を取り巻く環境も大きく変化する中で、学校・家庭・地域の連携の下に、学校教育の充実や生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上がますます求められています。北広島市は平成23年度に、10年先を見据え

た「北広島市教育基本計画」を策定し、人づくり・まちづくり・未来づくりを推進しています。豊かな自然と連携し、学びの場である北広島市、教育施設も充実し、市民は教育熱心です。すばらしい教育風土を持つ北広島市において、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を一層推進し、夢や志を持ってたくましく生きる人を育てていきたいと思います。

■地域の実情にあった学校運営協議会組織づくり

コミュニティ・スクールの存在意義、それは地域と家庭、学校をつなぎ、みんなで一緒に子どもを育てていくために、互いに「卒口の友人」子ども達の育つ環境を共に考え、働く。「人と人をつなぐ」ことと、地域の力を高める。「目標を共有する」学校・家庭、地域がそれぞれの役割を持つ。この3つです。平成24年度に決定した西部コミュニティ・スクール協議会準備委員会は、この西部中学校区で中9年間の子ども達の育ちを、地域ぐるみで継続的に支えるためには、どんな組織構成が相応しいのかを検討し、以下のような組織構成を考へて、平成25年度からスタートすることにしました。

西部コミュニティ・スクール運営協議会

【地域コーディネーター部】 地域における行事の推進、児童・生徒の健全育成及び安全指導に関する活動	【学校支援部】 教育活動への保護者、地域人材の積極的な参画促進に関する活動	【学校評価部】 学校の基本的な方針や計画、学校運営の点検や評価、助産
---	--	---------------------------------------

＜コミュニティ・スクール Q&A＞

Q1) コミュニティ・スクールにはどんな魅力があるのですか?

●コミュニティ・スクールは、「地域」というドームの中で、子どもを育てる“共育”の創造と定めた人があります。この取り組みの最大の特色は、学校・家庭・地域のそれぞれの教育力が向上し、このドーム空間全体の活性化、まちづくりにつながるといえます。「コミュニティ・スクール力=学校力×家庭力×地域力」と公式にする人もいます。「足し算」でなく、相乗効果で「掛け算」になるということです。子どもや学校だけが輝くというふうなものではなく、先進地の取り組みが証明されています。

Q2) 学校運営協議会の委員さんが仕事をするのですか?

●学校運営協議会委員は、学校運営の基本方針の承認、学校評価など、学校教育全般にわたって意見を述べるとともに、自らできることで学校教育にかかわる役割を担います。委員は保護者、学校の校長・教職員、地域住民、関係行政機関の職員、学識経験者、教育委員会が適当と認める者等で構成されています。①地域住民の学校運営等への協力や、②地域力や者かした学校支援、③学校が活躍した地域づくり、④卒口の友人や地域づくりを担う人材です。しかし、実際に学校と関わりながら、子ども達の学習を支え、子ども達に寄り添い、子ども達を見守る、子ども達の未来への掛け橋となるのは、地域の一人一人の皆さまなのです。

Q3) 最近、小・中学生とはかわりがないのですが、そんな自分でもできることがありますか?

●親近の子どもは、互打ちにも育ちつつある傾向が強くなっています。そんな中で、親でも教師でもない「第三の大人」が果たす役割は、とても大きいのです。子どもの「ほのめ」や「褒め」を受けることは、子どもにも、大人にとっても、有意義です。そして、子どもから、元気の素を分けてもらうことができます。

Q4) 「熱慮」「協働」「学校のマネジメント」とはどういうことですか?

●「熱慮」とは、学校と地域の人があが、みんなでよく考え、話し合っていくことです。「熱慮」を求むる。それはなんにしても「卒口の友人」として、子ども達の育つ環境を共に考え、働く姿勢です。「あなあ」の姿勢では、相乗効果は生まれません。まっすぐなことは、しっかりと意思を伝えよう。

●「協働」とは、同じ目的に向かって、一緒に活動していくことです。目標を共有し、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を持つことです。相互に頼り合う支持は大変ですが、全てを代替することはできないのです。だからこそ、互いの「よさ」や「得意分野」で、補完しあうのです。

●「学校のマネジメント」とは、校長を中心とし、人をつなぎ、学校の組織としての方針や手引きを出すことです。学校運営協議会という観点では、人と人をつなぐこと、つなぐことで、地域の活力を高めることです。本来学校には、地域貢献力や地域還元力があります。互恵性というこでもできる関係です。

■ご連絡・お問い合わせ先

北広島市教育委員会 学校教育課	〒061-1192 北海道北広島市中央4丁目2番地1	電話 011-372-3311(代表)
西部コミュニティ・スクール運営協議会 事務局(西部中学校)	〒061-1268 北海道北広島市輪船中央1丁目1番地2	電話 011-376-2252

4ページ構成

具体的な取組



小・中9年間の発達や学びを支える教育の充実をめざして

キーワード(熟議・協働・マネジメント)の具体化 ①

■マネジメント～義務教育9年間を見据えた小中連携



小中合同研修～9年間の育ち

キーワード(熟議・協働・マネジメント)の具体化 ②

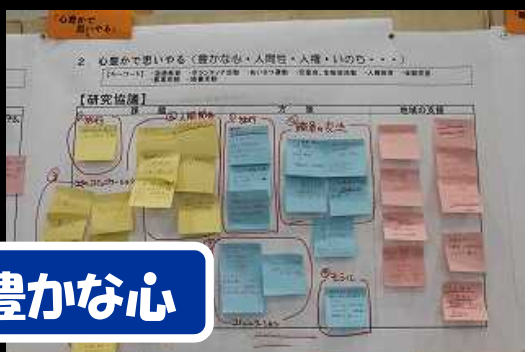
■熟議～「小中連携で・・・」「CSで・・・」できることを討議



学力



健康



豊かな心



地域・社会

キーワード(熟議・協働・マネジメント)の具体化 ⑤

■協働～同じ目標に向かって、一緒に活動



具体的な実践 ①

★確かな学力を育む



小中合同 漢字検定

親子と一緒に
挑戦しています



放課後学習

サポート隊の
方々の丸つけに
大はいきり



家庭科 授業補助

ベテランさんが
ミシンの使い方を
伝授

★心豊かで思いやる



道徳 「いのちの誕生」

赤ちゃんゲスト
から「誕生学」を
学びます



西部地区文化祭 高齢者慰安会

器楽・合唱演奏
でお年寄りも
大喜び



小中・地域 あいさつ運動

あいさつが飛び
交うまちを目指
して「おはよう」³²

具体的な実践 ②

★健康で、たくましく鍛える



小学生の部活動体験

6年生対象の部活動体験で、部活動加入促進



ウパシ・フェスティバル in 西部

部活生徒・先生が、ボランティアでお手伝いの中、小学生大奮闘



カボチャ栽培を通じた食育

地域の力を借りて収穫したカボチャを寄贈

★地域・社会に貢献



除雪ボランティア

高齢者宅や福祉施設、保育園の除雪ボランティア



施設訪問

合唱部にとっても地域にとっても貴重な取組



赤毛米の田植え

「寒地稲作赤毛米」発祥の地としての田植体験

具体的な実践 ③

■西部地区各団体の支援～子どもを主役に、みんなで見守る

生涯学習振興会

「地奥き網体験」
「子どもおもしろ理科教室」
「としのせフェスタ」
「中学生の企画」1・2



輪厚児童センター

「異世代交流」
「児童センターまつり」
「遊びの達人になろう」



青少年健全育成連絡協議会

「西部地区花火大会」
「西部ふしぎ発見」
「地域安全歳末子ども餅つき大会」
「青少年健全育成懇談会」



社会福祉委員会

「高齢者慰安会」
「昔あそび」
「除雪ボランティア」



輪厚おやじの会

「ウパシ・フェスティバル in 西部」
寒い冬を親子一緒に楽しめる事業



交通安全協会

「交通安全運動」
「あいさつ運動」
小学校前で実施



防犯協会

「新入学児童へ防犯フナー寄贈」
「登下校の見守り」
交通安全協議会と合同推進



連合町内会

「西部地区夏祭り」



具体的な実践 ④

■小中連携～地域とともに



CS防災訓練 小6・中3 スクールリーダーを集めて

学校運営協議会において、児童・生徒に「自助・共助」の意識や、地域に貢献し、地域を愛する心をはぐくむことの重要性が話題となりました。そこで、地域コーディネイト部が中心となり、「CS防災訓練」を実施しました。

児童・生徒と地域が一体となって取組を進める中、災害時における地域での役割や互いに助け合おうとする心が醸成されました。



具体的な実践 ⑤

■小中連携～全国体力運動能力テスト 小5・中2

反復横跳び、立ち幅跳び、長座体前屈



- 私は運動はあまりできないけど、楽しかったです。理由は、中学校の体育の先生がコツを教えてくれたので、去年より記録が大きく伸びたからです。特に、立ち幅跳びは30cmくらい記録が上がりました。
- 反ぶく横とびをしました。最初は全然できなかったけど、中学生や先生が教えてくれたので、できるようになりました。中学生の記録の回数を数える時に、速くて数えるのが難しかったです。また、やりたいです。
- とてもドキドキしました。楽しかった。等

コミュニティ・スクールの成果と課題①

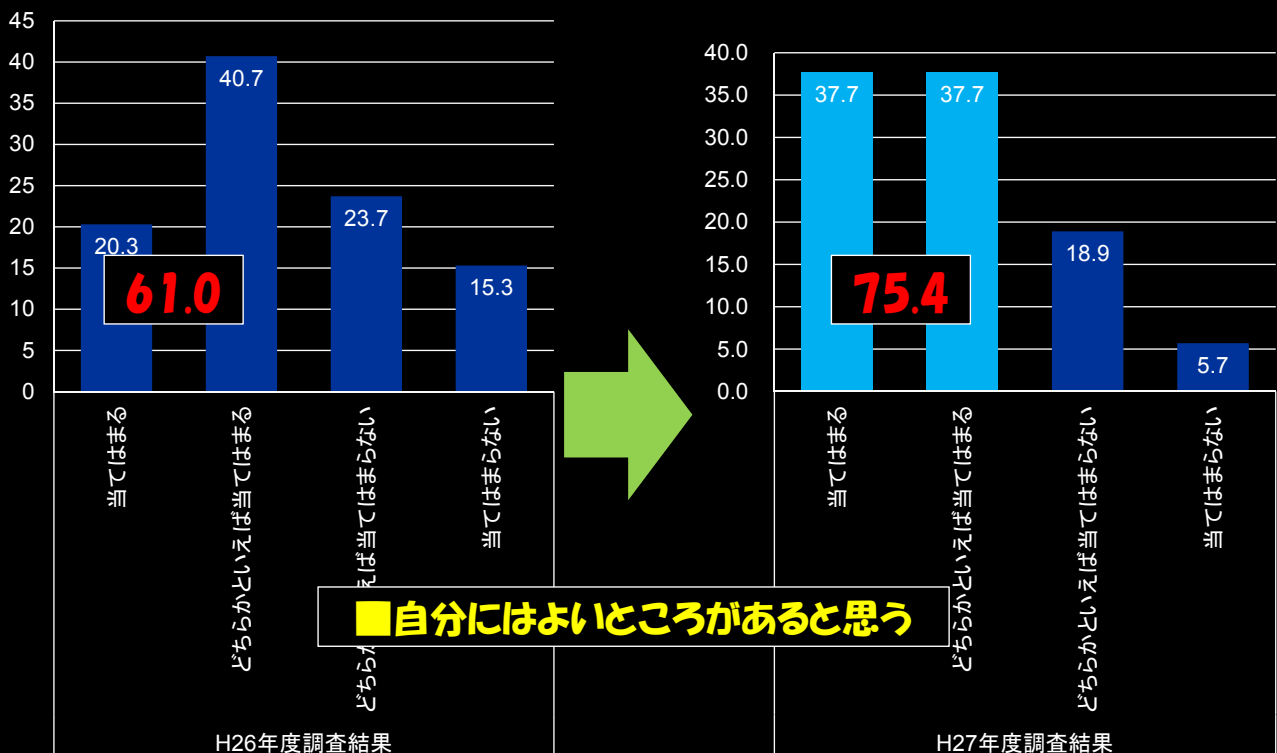
☆成果

- 地域の方々とめざす子ども像を共有し連携した取組が進められ、**地域教育力が高まってきた**。
- 児童生徒の学びや成長を支援するための、**学校・家庭・地域が一体**となった教育活動が進展した。
- 子どもたちや教職員の地域に出る機会が増加し、**地域貢献の意識**や子どもの**自己有用感**が高まった。
- 地域と学校との**双方向**の関係が生まれ、**活性化**が図られてきている。
- **小中連携、接続**が強化された(目標の共有化、取組の系統化等)。

☆課題

- 学校の支援に関わる**人材の確保**や**育成**、**制度や趣旨**のさらなる浸透。
- 地域のよさを生かした**有効的な教育活動**の**充実・発展**。
- 地域・家庭と学校をつなぐ**コーディネート**の**大変さ・難しさ**。
- これまでの取組の**検証**と、**検証結果の市内への発信**

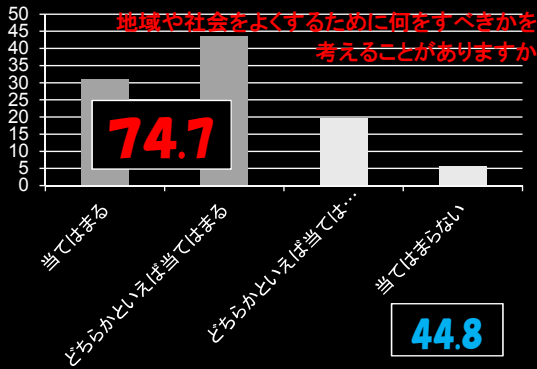
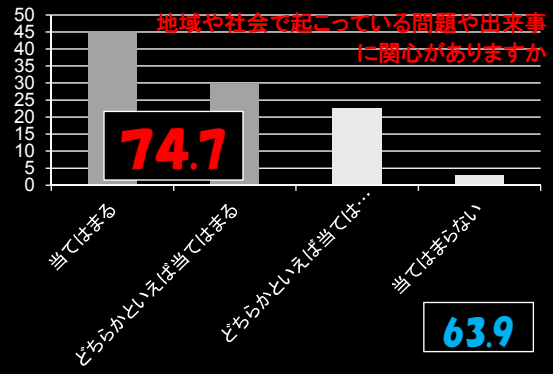
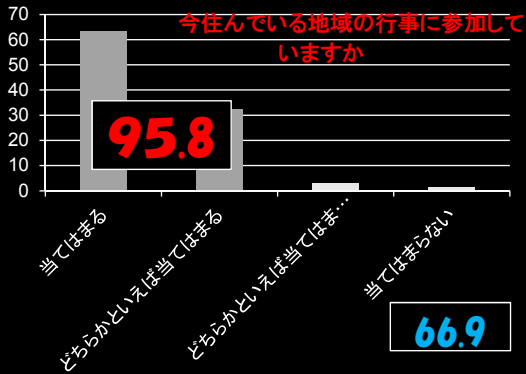
コミュニティ・スクールの成果と課題②



児童生徒質問紙調査の結果から

コミュニティ・スクールの成果と課題③

★成果と課題



児童生徒質問紙調査の結果から
平成27年度と26年度の比較

66.9

63.9

44.8

西部小・西部中

コミュニティ・スクール

地域と共に歩む学校をめざして

